

# ひとを通して本を知る

～ビブリオバトルとブックトーク～

1年 特別活動  
「ロングホームルーム」  
資料の活用・読書指導

ねらい

- ビブリオバトルのやり方を知り参加することができる。
- 他者の紹介から、さまざまなジャンルの本に興味を持ち、いろいろな分類の書架で本を探ることができる。
- 分類番号など書誌情報を的確に扱うことができる。

## 学 習 展 開

- ① 担任、副担任、司書教諭によるビブリオバトル。一人3分以内でおすすめ本を紹介する。本は全員が見やすいように展示する。
- ② 生徒は配布してあるワークシートの、ビブリオバトル投票欄で投票する。チャンプ本は後日紹介、展示する。
- ③ 学校司書によるブックトークをし、紹介し終わった本は①と同様に展示する。
- ④ 生徒はワークシートのブックトーク感想欄に感想や興味を持った本について記入する。
- ⑤ 生徒は館内を自由にブラウジングする。授業者は展示してある紹介本を見たり、これまで見たことがなかった書架で本を探したりするように声をかける。



ブックトークをする学校司書



ビブリオバトルの場の設定

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭は各担任、副担任と打ち合わせをして、今回使用する本の準備をする。
- 学校司書はブックトークの準備をする。
- 司書教諭はLHRの司会進行を行う。
- 学校司書と司書教諭はビブリオバトルの集計結果の発表とチャンプ本の展示をし、また、ブックトークの感想等をまとめて図書通信等で紹介する。

### ★指導のポイント

- ◆ ビブリオバトル、ブックトークで紹介する本のジャンルが偏らないよう事前に打ち合わせる。
- ◆ 紹介の中に、分類番号と館内の書架の位置を加える。
- ◆ ワークシートに、紹介された本の請求記号を記入する欄を設ける。

資料

「ビブリオバトルを楽しもうゲームで広がる読書の輪―」  
(粕谷亮美著・谷口忠大監修／さ・え・ら書房)